

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

低消費電力照明導入による省エネルギー事業

排出削減事業者名：株式会社マルシメ

排出削減事業共同実施者名：丸紅株式会社

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	株式会社 マルシメ
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	スーパーモール・ラッキー
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	丸紅株式会社
その他関連事業者（注3）	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

LED 照明導入による省エネルギー事業

2.2 排出削減事業の目的

店舗における照明設備の更新により、CO2 排出量の削減を図る。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既存の蛍光灯器具に使用されている蛍光灯（インバータ式 FLR）を LED 照明管に取り替えることで、使用エネルギー量の削減を図る。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

排出削減事業計画 4 項に沿って記載（計画から変更あった場合は、実際の開始日に変更して記載）。

2012 年 12 月 1 日

3.2 モニタリング対象期間

（本報告における実績報告期間）

2013 年 4 月 1 日 ～ 2019 年 7 月 31 日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
006	照明設備の更新

4.2 活動量

排出削減事業が活動量指標を採用している場合、排出削減事業計画 5 項に沿って記載。

4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位
照明設備	期間点灯時間 (h/年)	定格電力 (kW)

4.2.2 活動量の採用根拠

排出削減事業の対象である照明設備は、店舗の照明設備である。

事業実施前及び実施後の活動量は、照明設備のエネルギー使用量に最も影響を与える年間点灯時間を採用する。

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは、店舗内における照明器具更新の及ぶ範囲である。

5 モニタリング対象指標

排出削減事業計画 7.1 項を参照して記載。記載内容に変更のある場合、変更理由を項目ごとに記載すること。

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、) 変更 理由
R _{pj}	事業実施後照明設備 の消費電力	W	2013年度：108,668.0 2014年度：108,668.0 2015年度：108,668.0 2016年度：108,668.0 2017年度：108,668.0 2018年度：108,668.0 2019年度：100,508.0	各照明のカタログ値	なし
T _{pj}	事業実施後の点灯時 間	h	2013年度：4,374 2014年度：4,374 2015年度：4,386 2016年度：4,362 2017年度：4,362 2018年度：4,362 2019年度：1,464	営業時間より算定	なし
R _{Pj}	事業実施前照明設備 の消費電力	W	2013年度：255,900.0 2014年度：255,900.0 2015年度：255,900.0 2016年度：255,900.0 2017年度：255,900.0 2018年度：255,900.0	カタログ値	なし

			2019年度：235,908.0		
CF _{electricity} y-m	電力の排出係数	tCO ₂ /kWh	2013年度：0.000570 2014年度：0.000554 2015年度：0.000531 2016年度：0.000516 2017年度 ～2019年度：0.000496	J-クレジット制度の デフォルト値	なし

7 排出削減量の計算

承認排出削減事業計画において採用した算定式に基づき、モニタリング対象項目実測値等を反映した計算結果を記入すること。

注) 複数の方法論を採用している場合は、方法論ごとに排出削減量の計算結果を記入すること。

7.1 事業実施後排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	475,313.8	—	0.000570	270.9
2014 年度	475,313.8	—	0.000554	263.3
2015 年度	476,617.8	—	0.000531	253.1
2016 年度	474,009.8	—	0.000516	244.6
2017 年度	474,009.8	—	0.000496	235.1
2018 年度	474,009.8	—	0.000496	235.1
2019 年度	147,143.7	—	0.000496	73.0
[単位]	kWh/年	—	t-CO2/kWh	t-CO2
合計 :	EMS _{PJ}			1,575.1

7.2 ベースライン排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	1,119,304.9	—	0.000570	638.0
2014 年度	1,119,304.9	—	0.000554	620.1
2015 年度	1,122,375.6	—	0.000531	596.0
2016 年度	1,116,234.1	—	0.000516	576.0
2017 年度	1,116,234.1	—	0.000496	553.7
2018 年度	1,116,234.1	—	0.000496	553.7
2019 年度	345,368.7	—	0.000496	171.3
[単位]	kWh/年	—	t-CO2/kWh	t-CO2
合計 :	EMS _{PJ}			3,708.8

7.3 リークージ排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	0	—	0.000570	0
2014 年度	0	—	0.000554	0
2015 年度	0	—	0.000531	0
2016 年度	0	—	0.000516	0
2017 年度	0	—	0.000496	0
2018 年度	0	—	0.000496	0
2019 年度	0	—	0.000496	0
[単位]	kWh/年	—	t-CO2/kWh	t-CO2
合計：	EM _{PJ}			0

7.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EM_{BL}</i>	3,708.8
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EM_{PJ}</i>	1,575.1
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0
温室効果ガス排出削減量	<i>ER</i>	2,133

8 省エネルギー量

注) 複数の方法論を採用している場合は、表を追加して方法論ごとにエネルギー使用量を記載すること。

	原油換算 (kl)		
	ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン-実績 (①-②)
購入電力	1,814.7	770.8	1,044.0

省エネルギー量 (原油換算) = 1,044.0 kl

9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)			
	単位	エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)